

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策No.225

記入日 平成25年8月6日

点検日 平成25年8月9日

施策名	環境衛生の充実	施策担当マネージャー	市民生活部次長	マネージャー氏名	山中 冬樹	内線	203
政策展開の基本方向	2 「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	政策	2.2 快適な暮らしの環境をつくります				
関連計画・根拠法令等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②水質汚濁防止法		③柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合規約		④四市複合事務組合斎場条例		

1. 施策の目的・成果	(1) 施策の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。)						
	市民及び事業者						
	(2) 施策の意図(対象をどのような状態にするのか)						
廃棄物・尿尿収集・処理を適正に行うことや合併処理浄化槽の設置の促進により、清潔な生活環境が確保される。							
(3) 施策の成果							
	指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	目標値 (目標年度27年度)
施策	生活排水処理率	%	67.7	69.8	72.0	73.2	88.0
基本事業	し尿汲取利用者数	人	3,878	3,670	3,411	3,068	減少
	単独処理浄化槽利用者数	人	30,803	29,024	27,097	26,322	減少
	し尿、浄化槽汚泥処理率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	狂犬病予防接種率	%	75.0	74.2	74.6	75.1	100.0
	四市複合事務組合斎場利用率	%	91.7	94.0	93.4	93.2	増加

2. コストの推移	年度	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算見込み額	平成25年度 予算額	目標年度(年度) 今後の計画総額
	コスト・指標	千円						
	(1) 総事業費 自動計算	千円	521,172	505,530	428,049	24,244	395,066	0
	① 国庫支出金	千円	5,778	5,682	3,370	3,074	2,926	
	② 県支出金	千円	6,058	6,052	5,150	4,754	4,516	
	③ 市債・その他財源	千円	21,483	20,525	17,346	16,416	15,542	
	④ 一般財源	千円	487,853	473,271	402,183		372,082	
	(2) 総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間 /年	9,761	11,636	9,021	9,786	0	0
① 正職員(時間内)	時間 /年	4,186	4,286	5,796	6,306			
② 正職員(時間外)	時間 /年							
③ 非常勤職員	時間 /年	5,575	7,350	3,225	3,480			

3. コスト説明	(1) 市民一人あたりコスト	円	401	(2) 全施策中の順位	この施策は、全42施策中	12	番目にコストをかけています。
----------	----------------	---	-----	-------------	--------------	----	----------------

4. 環境分析	(1) 過去5年間で施策を取り巻く環境はどのように変わったか	公共下水道の普及率は、大きく伸びていない。	(2) 今後施策を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	公共下水道の普及率の大幅な進捗は見込めないため、現在の状況が続くものと思われる。
	(3) 施策について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見等)	合併処理浄化槽の補助制度について、事業仕分けでより使いやすいものとするべきとの指摘があった。	(4) 国・千葉県の方針並びに関係法規等の変化	なし

5. 施策を構成する事務事業の状況 ※施策中優先順位順に記載	優先度	事務事業名	担当課							
	A	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	クリーン推進課							
		し尿処理事務に要する経費	クリーン推進課							
	B	四市複合事務組合に要する経費	環境課							
		第2畜場建設事業	環境課							
	C	道路の安全衛生管理に要する経費	クリーン推進課							
		狂犬病予防に要する経費	環境課							
		害虫駆除に要する経費	環境課							
		公衆浴場衛生対策に要する経費	環境課							

①施策の中で優先度が高い事務事業から順に、A→B→Cの3区分で表示しています。
 ②優先度の判断は、「施策貢献度」「行政の果たす役割の大きさ」「投資効果」「市民ニーズ」「緊急性」の5つの尺度で相対的に判断した結果です。

6. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3:高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？市民等との役割分担は適切か？ 清潔な生活環境の維持は、し尿や浄化槽汚泥の適正処理や畜場の確保が不可欠であり、これらは市の責務でもある。
	(2)目的妥当性	3:高い	(理由)施策の目的は政策にどのように結びついているか。 環境衛生の充実を図ることにより、清潔な生活環境の維持が図れる。
	(3)公平性	3:高い	(理由)対象は偏っていないか？対象を広げたり狭めたりできないか？ 個別の事務事業について見れば、対象となる市民が限定されるが、公衆衛生という視点から見れば他の市民にも利益は十分ある。
	(4)有効性	3:高い	(理由)この施策を廃止した場合支障があるか。同じ目的を持つ他の施策はあるか？さらに成果指標を伸ばせないか？ し尿や浄化槽汚泥処理、狂犬病予防、害虫駆除、畜場の確保などは清潔な生活環境の維持に欠かせないものである。
	(5)効率性	3:高い	(理由)コストがかかりすぎているか？どうしたらコスト、所要時間を縮減できるか？ し尿や浄化槽汚泥処理、畜場運営は一部事務組合で行っており、スケールメリットは出ている。
	(6)総合評価	6.精査・検証	(今後の方向内容) これらの施設は、市民が清潔な生活環境を維持する上で必要不可欠なものであるため、今後もこの施策は継続する必要がある。

7. 改革・改善案	(1)改革・改善の方向	馬込畜場の能力が限界に近づきつつあるため、処理能力の確保が急務である。
	(2)改革・改善案の概要 ※指標改善の根拠とコストを示す	新たな第2畜場の建設を進めている。
	(3)改革・改善案の問題要因と克服策	第2畜場建設事業を進めていくこと。
	(4)改革・改善案導入の考え方 ※施策担当マネジャー所感	第2畜場建設事業には、本市も構成市として応分の負担をしているが、高齢化社会の進行により必要不可欠な施設である。

8. 成果とコストの方向性	成果の方向性	向上			
		維持	○		
		低下			
		縮減	維持	増加	
		コストの方向性			

成果とコストの方向性に関する説明
 第2畜場建設事業を進め、畜場の処理能力の向上を図る。

※評価検討(1)～(5) 1:低い、2:普通、3:高い、4:あてはまらない
 ※総合評価検討(6) 1:終了、2:廃止、3:休止、4:縮小、5:改善、6:現状維持、7:拡充
 1 終了:事業が完了したので、終了する
 2 廃止:事業を廃止する
 3 休止:再開を前提に休止する
 4 縮小:好ましくない状況なので、規模を縮小する
 5 改善:事業実施方法等について、改善した上、継続する
 6 精査・検証:精査・検証の上、継続する
 7 拡充:重点的に資源を配分し、規模を拡大する